

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みづきキッズクラブ 放課後等デイサービス事業所			
○保護者評価実施期間	2026年1月5日 ~ 2026年1月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2026年1月14日 ~ 2026年1月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご家族様との情報の共有、連携	・モニタリング以外にも、ご家族様との情報の共有を送迎時等に実施している。 ・日頃できた事や困っている事、連携する事等を都度話しながら取り組んでいる。	・引き続き情報を共有し、早い段階で連携して取り組んでいく。
2	・子ども達にとって楽しい場所、安心できる場所になっている	・楽しみながら取り組めるよう活動を工夫をしている。 ・話しやすい環境、雰囲気作りをしている。 ・自己選択できるような取り組みの実施をしている。 ・長期休みの際や1日預かりの際に、進学や就労を見据え見学を実施している。 ・社会科見学をする事で、どのような仕事があるのか考えるきっかけとなればと思う。	・進学や就労に結びつく所への見学の実施。 ・子ども達やご家族様へアンケート調査等を実施し、どんな所への見学を希望するのか実施する。 ・学校と連携をし早い段階から進路を検討し、みづきでの取り組みを進路に向けるよう取り組んでいければよい。
3	・将来に向けた活動の実施	・将来に向けた活動の取り組み（実際就労で行っている活動等を行い、就労の幅を広げる）。 ・活動の提供（何に興味を示し集中して取り組めるか）。 ・集中し取り組めるような環境設定。	・どんな学校や就労があるのか情報の提供。 ・将来に向けた活動の取り組み（実際就労で行っている活動等を行い、就労の幅を広げる）。 ・個々の段階に合わせグループを組む等の設定をする事で、より良い支援ができる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・体を動かすには部屋が狭い	・体を動かすとなると部屋数が少ない為、思いっきり体を動かす事ができない。 ・無料施設が少ない為、無料施設を探す事が大変。しかし探しても年齢制限等があり、皆で行ける所が少ない。 ・児発と放デイの部屋が扉一枚で隔たれているだけの為、児発のお昼寝の時間は騒げない。その為、外出を余儀なくされる。	・運動できるスペースの確保。 ・有料でも安く借りれる施設を探し、ご家族様から協力を得る。 ・夏場過ごせる場所の確保。
2	・事業所外での他児との交流	・学童等との交流は相手方の考え方やプログラムもあり時間が分が難しい。 ・コロナ禍になってからは感染リスクも考えると集団で交流をお願いする事は難しい。 ・1日預かりの際には午後から出かける機会が多く、地域資源、社会資源を利用し、その際に事業所外の方と関わる機会を設けている。しかし、対象として同年代との関わりは薄い。	・地域資源をこれまで同様利用しながら、他者との関わりや地域の人との関わりを増やしていく。 ・さまざまな人の関わる機会づくりや人とのつながる力を育めるよう関わりを増やしていく。
3	・研修等が少ない	・支援を第一に考えると、義務化されている研修を行うだけでも日程合わせが大変である。 ・研修に出ると人手不足となる事が多く、積極的参加が難しい。	・支援体制を整え、研修に参加できるよう整える。 ・午前の時間やZoomで参加ができるものには積極的に参加する。 ・外部研修で得た知識を、寝入部研修に活かしていく。